



拓南本株式会社
拓南製株式会社
拓南商株式会社
拓南製作株式会社
拓南製株式会社
拓南製株式会社

拓伸商事株式会社(大阪)
拓伸商事株式会社(福岡)
拓伸商事株式会社
拓伸商事株式会社
拓伸事業協同組合

INDEX

- 4 4月1日付で組織変更
- 5 全8社が健康経営優良法人に
- 7 薩南物産が創業35周年記念祝賀会開催
- 8 TOPICS
拓伸会5社が「くるみん」認定/令和6年度入社式/第2回動力プレス特別教育実施/化学物質管理者セミナー実施 etc.
- 11 拓南余話

【若夏】初夏。稲穂の出る時節をいうことば。初夏をナツグチともいう。『沖縄大百科事典』(沖縄タイムス社)より

拓伸会会報(隔月発行)

〒900-0025

沖縄県那覇市壺川3の2の4 [拓南ビル3F]

拓南本社内『たくしんNEWS』編集委員会

TEL.098-831-8228 FAX.098-832-0586

グループの力を 最大限に引き出す

令和6年度経営計画発表会 拓伸会



「健康経営優良法人」全8社認定

拓伸会会員企業全8社が3月11日、経済産業省の「健康経営優良法人2024」に認定された。グループの会員企業すべてが認定を取得するのは快挙で、拓伸会をあげて健康経営に取り組む姿勢を具内外に強くアピールする機会となる。(5頁に特集記事)



拓伸会の令和6年度経営計画発表会が4月6日、拓南製鐵本社中部事業所2階大会議室で開かれた。8社の代表が発表した。会員企業の課長以上が出席し、主任から課長代理までの管理職はオンラインで参加した。各発表では「組織変更」をはじめ、「ESG経営」「パートナーシップ構築宣言」「健康経営」「BCP」「くるみん認定」などがキーワードとされた。古波津昇会長は、拓南本社の経営計画のなかで「拓伸会に、将来を見据えた新しい技術の研究に特化した「技術開発研究室」を新設すること述べた。

発表会は、拓伸会の小湾正博副会長が開会のあいさつをした。「国際紛争に伴う原材料の高騰や電力料金のアップ、デフレ脱却のための物価上昇や賃金の上昇などコストアップを期待する」

発表は、拓南商事、拓南製鐵、拓南製作所、西原グリーン

令和6年度方針

総力挙げて時代の変化に挑む

拓南製鐵 代表取締役社長 八木 実

令和5年度は、アフターコロナで従来の国民の生活習慣や価値観の変化、企業にお

いてもビジネスのスタイルや環境の変化を見極めて、いかに対応するかが問われ、新



世界の社会情勢は、長引く国際紛争、中国のバブル崩壊、デフレ懸念の影響により不安定に推移しており、資源の需給、相場ならびに金利や為替・株価などは複雑な動き

を示し、指標が見えなくなっています。

拓伸会は、創業以来70年間、沖縄における希少な資源を再活用し、ものづくりを推進することを生業の中心に置き、技術開発や物流の在り方、また働き方を研究してまいりました。

昨年度は、「パートナーシップ構築宣言」を4月に行い、年度末には「健康経営優良法人」を会員企業全8社に左参照Ⅱで、「くるみん」を県内会員企業5社に8頁参照Ⅱで認定をいただきました。

今年度は、各社の組織変更、担当役割の交替など新たな体制となります。また、拓南本社に「技術開発研究室」を設置Ⅱ4頁参照Ⅱし、これまで

の製品や製造工程、新商品開発という観点だけではなく、将来を見据えた新しい技術の研究に特化します。

拓伸会を、グループの力を最大限に引き出すことができる組織にします。BCP(事業継続計画)についても確立し、ステップアップさせていただきます。

しかし、日銀のゼロ金利政策解除に伴う金利負担増や所得向上の気運、さまざまな費用増加など課題は山積です。

ESG経営を核に拓伸会の英知を結集し、技術やサービスを含めた商品知識の共有で資源の有効活用推進を通じ環境や経済に寄与できるように皆さんのご協力をお願いします。

令和6年度方針

拓伸会の連携を強化しガバナンスの徹底をはかる

拓南本社 代表取締役社長 古波津 昇

5分)。発表内容のダイジェスト(3月下旬出稿)は下記のとおり。

研修兼ねた懇親旅行を計画

各社の発表後、古波津昇会長が総括し、そのなかで次のように述べた。

「今年度から次年度にかけて、拓伸会全社員参加の、研修を兼ねた複数泊の懇親旅行を計画している。働いている皆さんが楽しく幸せに仕事が

できなければ、会社の利益も意味がない。子育ての支援、子どもをつくるための支援、生活をするための支援、皆さんが仲良くするための企画をしっかりと進めていく。皆さんのご協力のもと、拓伸会を盛り上げていきたい。」

司会は、拓南本社人事部長 比嘉洋輔次長が務めた。



《1頁より》
 生誕100年、そして、拓伸
 会創業70周年の記念すべき
 年でした。6月1日の創立記
 念日に浦添工場(当社2番目
 の工場)跡地にある国立劇場
 おきなわで、記念式典が、役
 職員やOBの代表、協力企業
 の皆さんが一堂に会して挙
 行されました。日々の活動に
 感謝し、歴史を共に振り返
 り、社是「拓鐵興疏」の理念を
 共有することができました。

丸棒業界は、エネルギーコ
 ストの高騰や原料である鉄
 スクラップ価格の高止まり
 など厳しい状況で、県内では
 ダンピング品の流入玉によ
 る市況の混乱はありました
 が、パートナーシップ構築宣
 言を行い、特約店・スクラッ
 プ問屋や拓伸会および協力
 企業としっかりとつながる運
 営に徹しました。

また、情報の共有化と連携
 強化・改善活動で安全と生産
 性向上を図り、時代のニーズ
 に合った生産出荷と地元メ
 ーカートの優位性(品揃えと迅
 速な納期)を生かし、高品質
 のサービスを提供すること
 ができました。その結果、令
 和5年度は増収増益となり
 ました。



令和6年度は、100年
 企業に向けて社員一人ひと
 りが当事者意識を持ち、全社
 員が「現実の足元を堅固にし
 同時に将来をすっきりと見
 据えて何をすべきか」とス
 ピード感をもって実践し、必
 ずすることを念頭に、年度方
 針は前年度と同じく「総力挙
 げて時代の変化に挑む」を掲
 げました。



社内の安全衛生大会や業
 務改善成果発表大会におい
 ても、社員の皆さんの時代へ
 変化に対する意識が高くな
 っています。さらにPDCA
 を何度も回して深掘りする
 ことが大切です。

設備投資においても30年
 経過した設備の更新だけで
 はなく、CO2削減や生産性
 向上に加えて社員の皆さん
 が安全で働きやすい環境な
 り改善にも注力しなければな
 りません。ロボット化、遠隔
 操作、AIの活用等最先端技
 術を導入し、変革の時代を先
 取りするチャンスでもあり
 ます。

「ゼロ炭1000日」を絶
 対的な目標とし「拓鐵興疏」
 を主軸にESG経営、特にガ
 バナンスをしっかりと行い、危
 機意識の徹底でBCP(事業
 継続計画)を構築します。

また、健康経営基本方針で
 社員一人ひとりの心と体の
 健康を高めて、働きやすい環
 境を推進し、社業に誇りを持
 ち、やりがいを実感でき、一
 丸となつて社会に必要とさ
 れ続けられる企業として取
 り組んでいく所存です。お客
 様、協力企業、拓伸会の皆様
 に本年度もより一層のご指
 導ご協力をお願い致します。



令和5年度は創業70周年
 を迎え、激しく変化していく
 時代の流れに適応していく
 ためチャレンジと合理化を
 進め、機能の強化を図りまし
 た。

令和6年度方針
あるべき姿を追求し強靱な組織をつくる

そして、これまで関わりの
 少なかつた本島や離島なら
 びに県外企業の鉄資源も取
 り扱うことで、数量は1万7
 300トンとなり、従来の離
 島連携企業の前年度実績の
 約6倍、また隣接するリサ
 イクルポルト中城湾港活用
 が15回と前年度利用回数
 の2.5倍にもなりました。

拓南商事 代表取締役社長 川上哲史

そして、カーシュレッダー
 の大型破砕機に頼っていた
 複合物の集中処理から、廃家
 電などの軽量金属複合物を
 破砕し、鉄、非鉄ならびにプ
 ラスチック類に分別する豎
 型シュレッダーの増設によ

正社員の34%にもなりまし
 た。
 令和6年度の年度方針を
 「あるべき姿を追求し強靱な
 組織をつくる」とし、ESG
 ならびに健康経営を通し、社
 員一人一人が伸び伸びと自
 らの個性を存分に発揮でき
 る組織体制を築きます。4
 頁参照。

いつまでも変化しない本
 質的な姿勢(拓鐵興疏)の中
 にも、変化に柔軟に対応不
 易と流行)していきます。社
 会の変化に無関心であつて
 はならないことを社員各人
 が自覚し、必要なものを取り
 入れる姿勢を持ち、チャレン

ジできる人材を育てます。
 100年企業に向けまい
 進する中において、社会は一
 層進展すると予測されます。
 「ゼロ炭1000日」を達成してい
 ない課題をすっきり克服し、国
 際化や情報化の変化に的確
 かつ迅速に対応でき、ESG
 経営を通じて改めるべきは
 勇気を持って速やかに改め
 ていく企業体制を確立して
 いきます。



昨年・一昨年と過去2年の
 国土交通省の建築着工統計
 から換算した暦年における
 県内推定鉄骨需要量は、2万
 2000トン前後とコロナ
 禍前の30年平均の4割程度
 まで減少し、事態は極めて深
 刻な状況でありましたが、年

明け以降、徐々に引き合いが
 増え、県内建築市場も5月の
 連休明け以降より活性化し
 てくるのではないかと考え
 ています。

拓南製作所 代表取締役社長 本部紹吉

しかし、4月より施行され
 る物流・建設業における20
 24年問題、さまざまな資材
 価格や電力料金の高騰など
 製造コストの負担増などに
 より、今後最も厳しい経営環境
 が予想されます。

このような経営環境に立
 ち向かうため、今期の年度方
 針を「改革と連携で組織の強
 化」とし、事業の実体にあつ
 た組織を3事業所に統合強
 化(5頁参照)。市場動向
 をこまめに注視して事業活
 動に取り組んでまいります。
 新たな体制として、建設鐵
 構事業所にフォーミング部
 門を移管して鐵構事業所と
 し、鉄筋事業所には線材部門
 を移管して棒鋼線材事業所
 とします。両部門とも業態が
 近い関係にあり、これまでよ
 りさらに連携が進み、相乗効
 果が現れてくるものと期待
 しています。

そして、防錆事業所では、
 前期、県内の鋼構造物件の減
 少や亜鉛原材料の高騰の影
 響を受け、被めつき物の入荷
 量が大幅に減少しましたが、
 その状況を打破すべく、今後
 は官公庁や設計事務所への
 先行営業とより酸亜鉛仕様
 の営業活動に注力していき
 ます。

令和6年度方針 開業から半世紀 感謝を込め顧客満足度を向上

西原グリーンセンター 専務取締役 外間一成

4年近くに渡り世界的流行で経済停滞の要因となっていました新型コロナウイルス感染症が昨年5月より



とから、経済活性化が期待された令和5年度でしたが、なかなか景気回復につながらず、レンジ・コース共に年度前半は猛暑の影響や台風によるクローズ等で来場客数減で厳しい状況でした。

しかし、「安全で楽しい情報発信の年度方針のもと、積極的なLINE会員登録推進の結果、2倍の3400人に増えました。お客様へさまざまな情報発信や楽しんでもらえるイベントを切れ目なく行った結果、年度後半より徐々に来場者数も増えてレンジは前年並み、コースは前年比15%増となる1年でありました。



また、21年間営業していましたがTSUTAYA壺川店を閉店しました。これまで経営改善に努めてまいりましたが、時代の変化に伴い閉店を判断しました。また、通信事業も、時代の流れとしては取扱店の乱立に圧され、厳しい状況から撤退を判断しました。

以上のことから、売上げとしては減収となり、特別損失も含め利益を出すことはできませんでした。令和6年度は、8月にゴルフ練習場として開業50周年を迎えます。お客様に気持ちよく楽しんでもらうためにゴルフレンジの人工芝の張り替えやスタンスマットの入れ替えを行い、コースの整備にも取り組んでおり、イベントを行うなど長年にわたるご利用に感謝を伝える年としたいと思っております。

また、昨年11月に西原町社会福祉協議会より永年会員功労として表彰を受けました。さらには今年3月に健康経営優良法人2024の認定を受けました。働く従業員の満足度が高く、地域の皆様に親しまれ選ばれる企業を目指して、西原センターサービスステーション・aushin

工業者にもメリットが出るように配慮した業務展開を進めていきます。

これからも、市場のニーズに対応した設備投資を行い、自動化や産業ロボットの導入の推進など、次世代の担い

令和6年度方針 迅速な行動と情報共有で体制強化

拓伸商事(大阪) 代表取締役社長 大城秀政

ご安全に。昨年度は、購買窓口として拓伸会各社に大変お世話になり感謝申し上げます。

3年目に突入したロシアのウクライナへの侵攻の影響で、前々年度は、各資材や

ヨップとともに連携してお客様に選んでもらえる、喜んで利用していただく、頼りになる店舗として全社一丸と

なって取り組むため、令和6年度方針を「開業から半世紀感謝を込め顧客満足度を向上」としました。

ESG経営を基に常にお客様に喜ばれ、選ばれる会社になることを第一に考え、地域に寄り添う企業になることを使命とし「パートナーシップ構築宣言」に基づく活動を行い、業績向上を目指します。

今年度も拓伸会の皆様を含め、御利用のお客様に安心とご満足いただけるよう努力する所存ですので、今後ともご愛顧いただくと同時に、ご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。

手確保のため作業環境を向上させ、自社の魅力づくりに努めます。

安全衛生活動においては、前期でゼロ災482日となり、ツールボックスミーティングや指差呼称等を日々の

業務の中で実践し、必ずや定着させ、目標のゼロ災1000日達成を目指します。昨年4月に行ったパートナー構築宣言にもつき、今後ともすべてのステークホルダーと成長できるよう努めます。

エネルギー資源の急激な高騰が続きました。厳しい状況でしたが、前年度は、比較すると変動幅がかなり緩和され、高値で推移してきました。

令和6年度も大きな変動はないと予測され、総じて高い水準で推移して行くものと思われま

日本では、ここ2、3年続く円安も重なり、30年来の物

前年度は、資材の取違え等、関係先への情報発信の遅れや受伝達の不備で迷惑をかけたこともあり、コミュニケーションの不備や情報共有の脆弱性について、机上の教育だけでなく実践教育の必要性を実感しました。

令和6年度は、引き続き社員教育に力を入れ、それらを改善すべく「迅速な行動と情報共有で体制強化」を年度方針としました。

持続可能な社会づくりに貢献する企業となるために、ESG経営を基軸にCO2削減にも引き続き取り組んでまいりますので、今後とも拓伸会の皆様のご指導・ご協力をよろしくお願ひ致します。

迅速な行動と情報共有で体制強化

拓伸商事(福岡) 専務取締役 安東秀徳

ご安全に。3年続いたコロナ禍も昨年5月には第5類

へ移行し、計画が延期されていた案件も動き始め、営業活

動も活発にできるようになりました。沖縄県内の官公庁



結びに、資源高騰化の時期ではありますが、どのような状況下でも各種資材類等、事業活動に支障が出ないよう手当てに努め、拓伸大阪・拓伸福岡・陸南物産の3社が協力して、拓伸会の循環型社会実現に向け、より高品質な商品やサービスを迅速に提供し、各社地域の社会経済に貢献し続けてまいります。今後とも、拓伸会皆様のご指導・ご鞭撻お願ひいたします。

迅速な行動と情報共有で体制強化



計 画 発 展
昨年年度は、役員ならびに拓伸会の皆様のご支援により無事、創業35周年を迎えることができました。関係者の皆様様に心より感謝申し上げます。さて、世界の情勢を見ると

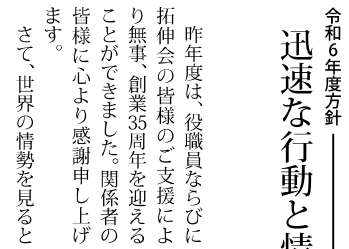
2つの国際紛争が長期化し、資源の高騰や円安によるさらなる物価上昇が続いております。また、2024年問題により労働時間制限や人手不足の影響からの人件費上昇も予想されます。本年度は、社員の採用と育成の充実と営業エリアの見直しを進めるなかで、一丸となって共通の目標に向かいます。

鉄筋販売において、昨年はチャーター船で一括購入した鉄筋を販売することで収益を確保しましたが、様子見のお客様も多く、計画を達成することができませんでした。今後は南九州全域、特に離島への鉄筋や二次製品を積極的に売り込み、販売数量の安定的な拡大に取り組み

安全衛生面では、ゼロ災害1000日を目指し、不安全状態と不安全行動を徹底して無くします。昨年発生しました2件の不労災害を教訓とし、5Sで安全な職場環境を維持し、指差し呼称を徹底し、作業前の危険予知に努めます。安全パトロールの頻度を

健康経営優良法人として、一人一人の心と体の健康を高めて、働きやすい環境を推進していきます。また、多能工化に取り組み、これまでに以上資格取得や研修に取り組み、定期的なジョブローテーションを行い、一人一人が実力を発揮できる職場環境を構築していきます。

ESG経営を主軸に社内のみならず拓伸会の皆さんとのガバナンスをしっかりと行い、幅広い活躍ができる様努力します。
結びに、拓伸会グループの皆様の一層のご協力とご指導をよろしくお願ひします。



迅速な行動と情報共有で体制強化
令和6年度方針
薩南物産 代表取締役副社長 日高 勝

鉄屑購買では、1年を通して市中屑の動きが悪く数量確保に苦労しましたが、同業者の協力も得てどうにか一定量を確保することができました。現在、増加傾向にある解体物や加工業者等のヤードに眠る鉄屑を発掘しながら数量確保に取り組んでいます。さらに、省エネ効果のあるギロチン設備の更新にも着手しました。

をあげ、強化し、職場や作業に潜む危険の発見と早期解決に努めます。あわせて外部研修や専門家による安全点検を行い、安全知識の習得に努めます。

健康経営優良法人として、一人一人の心と体の健康を高めて、働きやすい環境を推進していきます。また、多能工化に取り組み、これまでに以上資格取得や研修に取り組み、定期的なジョブローテーションを行い、一人一人が実力を発揮できる職場環境を構築していきます。

ESG経営を主軸に社内のみならず拓伸会の皆さんとのガバナンスをしっかりと行い、幅広い活躍ができる様努力します。
結びに、拓伸会グループの皆様の一層のご協力とご指導をよろしくお願ひします。

ESG経営を主軸に社内のみならず拓伸会の皆さんとのガバナンスをしっかりと行い、幅広い活躍ができる様努力します。
結びに、拓伸会グループの皆様の一層のご協力とご指導をよろしくお願ひします。



案件や北部のテーマパークプロジェクト等の大型民間案件も動き出してきており

めの新商品・琉球ガードや住宅基礎のユニット鉄筋など特性を生かした商品を積極的に提案・拡販していきます。今年度の年度方針は、「迅速な行動と情報共有で体制強化」とし、拓南製鐵・拓南製作所・薩南物産など拓伸会各社とともに迅速で正確な情報共有により、全体最適に努め、営業力を強化していきたいと思ひます。

また、内部においては、新販売管理システムの効率活用でスムーズな管理運営ができるようにしていきます。さらに昨年、健康宣言した取り組み内容の認知と実行力を高め、健康で明るい職場環境づくりに努めます。

今年度も、拓伸会各位や取引先の皆様と一緒に進んで行けるよう、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

また、内部においては、新販売管理システムの効率活用でスムーズな管理運営ができるようにしていきます。さらに昨年、健康宣言した取り組み内容の認知と実行力を高め、健康で明るい職場環境づくりに努めます。

今年度も、拓伸会各位や取引先の皆様と一緒に進んで行けるよう、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

案件や北部のテーマパークプロジェクト等の大型民間案件も動き出してきており

めの新商品・琉球ガードや住宅基礎のユニット鉄筋など特性を生かした商品を積極的に提案・拡販していきます。今年度の年度方針は、「迅速な行動と情報共有で体制強化」とし、拓南製鐵・拓南製作所・薩南物産など拓伸会各社とともに迅速で正確な情報共有により、全体最適に努め、営業力を強化していきたいと思ひます。

また、内部においては、新販売管理システムの効率活用でスムーズな管理運営ができるようにしていきます。さらに昨年、健康宣言した取り組み内容の認知と実行力を高め、健康で明るい職場環境づくりに努めます。

今年度も、拓伸会各位や取引先の皆様と一緒に進んで行けるよう、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

また、内部においては、新販売管理システムの効率活用でスムーズな管理運営ができるようにしていきます。さらに昨年、健康宣言した取り組み内容の認知と実行力を高め、健康で明るい職場環境づくりに努めます。

今年度も、拓伸会各位や取引先の皆様と一緒に進んで行けるよう、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

また、内部においては、新販売管理システムの効率活用でスムーズな管理運営ができるようにしていきます。さらに昨年、健康宣言した取り組み内容の認知と実行力を高め、健康で明るい職場環境づくりに努めます。

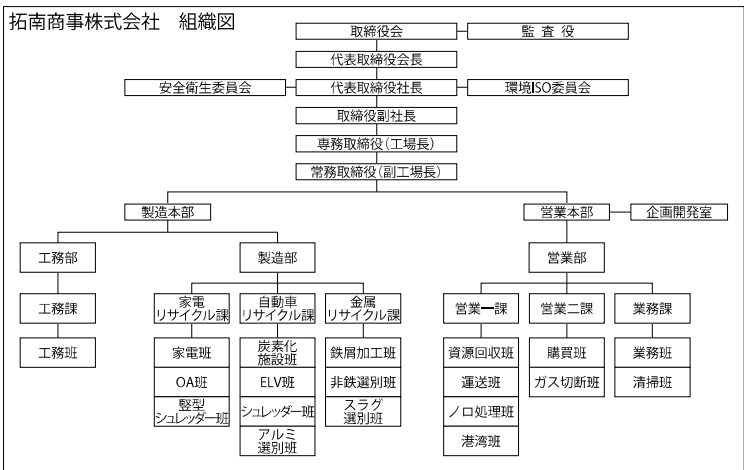
営業本部、製造本部を設置 拓南商事

技術開発研究室を新設 拓南本社

拓南商事は、4月1日付で組織変更を行いました。
これまで、営業部は市中鉄屑を仕入れ・加工・出荷し、リサイクル事業部は廃車・廃家電の加工を担い、それぞれが品質・工程管理を行っていました。
法律の制改定、委託先(自動車メーカー・家電メーカー)の要求、廃棄物の多様

化、資源需給の変化ならびに少子化など、事業環境の変化に適応し、さらには大型スクラップシャーの更新、付加価値を追求する設備導入、各工程自動化設備導入に向け、新たな組織体制として営業本部と製造本部を設置しました。
新組織図(部署名のみ)は下記の通りです。

拓南本社は、4月1日付で技術開発研究室を新設しました。
技術開発研究室は、個別の技術課題に取り組むだけでなく、拓伸会全体の基盤となる技術の開発研究を行うことを特徴としています。経営計画発表会で古波津昇会長が示した「これまでの製品や製造工程・新商品開発という観点だけではなく将来を見据えた新しい技術の研究」=1頁参照=に基づいており、グループ全体の競争力向上につながるような開発研究に取り組みます。
具体的には、鉄資源のリサイクル企業グループとしての強みを発揮できる開発研究テーマを検討しており、まずは、スクラップ選別の自動化・高度化、製鋼スラグの資源としての活用(生分解性ポリマーとの組み合わせ、肥料、海草類育成用施肥材)に取り組んでいきます。
これらのテーマは分光分析、画像解析、人工知能、生物学、有機化学など、これまであまり接したことのない学問分野とも関係していますので、外部の研究機関等を連携活用しながら、開発研究を進めていきます。



組織変更

4月1日付で新機軸

拓南本社、拓南商事、拓南製作所



認定を受けて古波津会長が沖繩総合事務局の三浦健太郎局長(右)を訪問(3月13日)



拓伸会全8社 認定

経産省「健康経営優良法人2024」

拓伸会会員企業全8社が3月11日、経済産業省の「健康経営優良法人2024」に認定された。グループの会員企業すべてが認定を取得するのは快挙で、拓伸会をあげて健康経営に取り組み姿勢を県内外に強くアピールする機会となる。そこで、事務局を務めた拓南本社安全統括室の長濱直次執行役員室長・健康づくり担当者、認定に至る経緯、認定の意義、今後の取り組みについて寄稿してもらった。また、拓伸会幹部、健康づくり担当者、社員の感想は、下記の通り。

持続・発展できる健康経営を

拓南本社 執行役員安全統括室長 長濱直次
健康づくり担当者

健康経営の歩みは、2020年12月1日の「鉄の記念日」からスタートしました。まず、拓伸会会員企業県内5社で、協会けんぽの主唱する「福寿うちなく健康経営宣言(現・うちなく健康経営宣言)」を実施し、「健康経営とは何か」などの共有から始まりました。次の大きな歩みは、約2年後の創立70周年を迎えた

昨年の3月1日です。よりハイレベルな健康経営を目指して、経済産業省の創設した「健康経営優良法人2024」の認定取得に向け、会員企業全8社が健康づくり体制を整備し、キックオフしました。

各社において「健康づくり担当者」を選任し、辞令が交付されました。事務局はリモート方式で健康づくり担当者会議を開催し、認定実施事項の情報交換、好事例や改善事例を共有して評価基準



県立博物館美術館で行われた地方初の認定証授与式。中央は沖繩総合事務局の三浦局長(3月15日)

社会的に評価を受ける制度

「健康経営優良法人2024」認定制度とは、優良な健康経営に取り組む法人を見える化している制度のことです。社員や求職者、国、県、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として社

P D C A を回しながら改善を

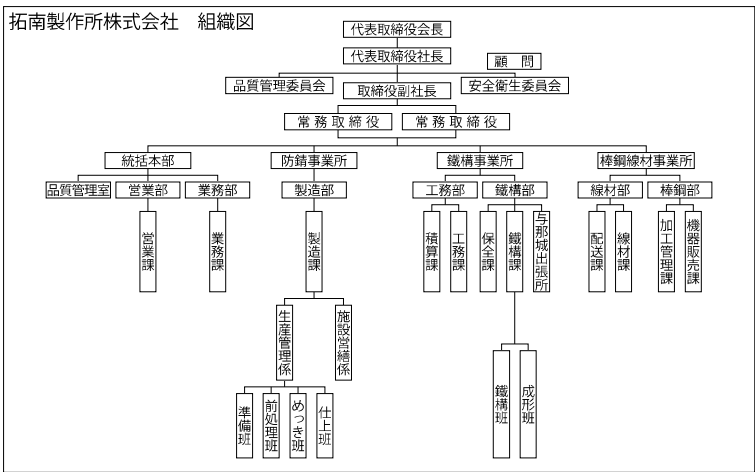
「健康経営優良法人2024」は役員一丸となった取り組みで取得することができました。また、その成果の

の事項を着実に実施しました。その結果、今年3月11日に、全8社が日本健康会議によって「健康経営優良法人(中小企業部門)」に認定されました。

4事業所を3事業所に統合 拓南製作所

拓南製作所は、4月1日付で組織変更を行いました。厳しい経営環境に立ち向かうため、これまで4事業所だった組織を3事業所に統合し、強化を図りました=2~3頁「経営計画」参照。新たな体制として、建設鉄構事業所にフ

ォーミング部門を移管して鉄構事業所とし、鉄筋事業所には線材部門を移管して棒鋼線材事業所としました。両部門とも業態が近い関係にあり、さらなる連携と相乗効果を狙います。新組織図(部署名のみ)は下記の通りです。



一つとして、社員と会社が健康について考えるきっかけとなりました。事務局としては、経産省からのいただいた2024のフィードバックシートを基に、健康経営のPDCAを回しながら改善を行い、拓伸

〈拓伸会幹部の感想〉

※1頁の集写真参照

☆拓伸会

会長 古波津 昇

拓伸会各社の一致した活動により、経済産業省から「健康経営優良法人」の認定をいただきました。これまで各府県と国や医師会が協同で活動している健康経営宣

言を行ったり、沖縄県によるワークライフバランス認証など、働く皆さんとともに健康で楽しく仕事ができるよう注力してきました。どこでも、役員一人一人が改めて自身の健康について真剣に向き合わなければなりません。これからも、時代の変化と

◎拓南製鐵

代表取締役社長 八木 実
社員の皆さんが充実した日々を過ごすことができます。この健康あつてのことです。 (6頁へ)

常に健康を意識して行動する。会社としても第一に、社員の心身ともに健康で安心安全な職場環境の形成を経営方針としてサポートします。

●拓南商事

代表取締役社長 川上哲史 「健康経営優良法人2024」の認定を受け、社員一人一人が健康を意識し、社内で取り組む活動が家庭内でも話題となり、コミュニケーション

ヨンが活性化し、さらには家庭内でも実践されることを期待します。

●拓南製作所

代表取締役社長 本部紹吉 近年は人手不足問題が恒常化しています。社員に元気に永く勤めてもらう為に健康の保持や増進は極めて重要です。今回の認定取得を機により一層健康に重点をおいた経営に取り組みしていきます。

●西原グリーンセンター

専務取締役 外間一成 「うちなー健康経営宣言」を行って約3年、お陰様で「健康経営優良法人2024」の認定を受けることができました。今後は、全社員で健康経営の意義を共有し「コアライト500」に挑戦したいと思えます。

●拓伸商事大阪

代表取締役社長 大城秀政 ラジオ体操、出勤時の階

段の利用促進、血圧・体重測定で日々の体調管理を意識し、青汁摂取で血中脂質の低減を図る。また、情報共有、コミニケーションのフィールドアップの機会を増やし、全員で支え合う風土を醸成し、有給休暇が取りやすく働きやすい職場づくりを推進します。

●拓伸商事福岡

専務取締役 安東秀徳 「健康経営優良法人2024」の取り組みにより「健康」

と「企業」との関係の重要性を理解できました。健康は「個人のもの」から「社会のもの」との認識を持ち、今後も取り組んでいきます。

〈健康づくり担当者の感想〉

●拓南製鐵

常務取締役 西銘 進 今回の取り組みで、社員の皆様の健康に対する意識変化、動機づけに多少は貢献できたと思っています。新年度も課題を克服しながら、楽しく健康増進のキッカケづくりを進めて行きたいと思えます。

●薩南物産

代表取締役副社長 日高勝 人生100年時代、社員が健康で生き生きと暮らすために必要な運動・食事等の情報提供や一人一人が自分らしくやりがいを持って働き続けられる職場環境づくりに努めます。

員が継続的に健康経営に取り組める環境づくりを続けていきたいと思えます。

●拓南製作所

執行役員統括本部長 比嘉義浩 認定を機に社内でのコミュニケーションやフ

●拓伸商事大阪

次長 上山浩代 1日5000歩の目標達成のため、階段で5階まで上がるなど運動を意識し、食事や喫煙の話を聞いて、毎日の生活が大事なことを学びました。まだ不十分ことが多いですが、これからも健康の意識を高め、生活をしたいと思えます。

黒島善茂

ラジオ体操を始めたきっかけは、社内健康診断実施の結果、有所見率が他社に比べて高い数値を示した点にある。

私見として、仕事柄体力を使い動き回って汗をかいているので、他社より良い結果になると思っていただけに、大きなショックを受けた。

医師に伺ったところ、「肉体的労働者は必ずしも疾患し難いとはいえない。肝機能、糖代謝、高血圧が診られ、そのうえ、酒、タバコの愛飲者が多く、腰痛者もいる」とのことであった。

ワンポイントアドバイスとして「酒、タバコを控えさせるのはもちろん、自律神経のバランスを改善し、気持ち安定させ、ストレス解消を心がけるように指導を」と言われた。

そこで思いついたのが、ラジオ体操であった。人体は起床後しばらく

は細胞が目覚めていない、と聞いていた。有酸素運動をすれば、体内時計を整え、筋肉をまんべんなく動かすことで血行が良くなる。その結果、肩こりや腰痛の予防と改善がなされ、さらに脳が活性化し、やる気が出る。その後、約40年になる。

ラジオ体操が下手な理由

沖繩で、ラジオ体操はどのよう普及しているのでしょうか。

沖繩地方ラジオ体操連盟 比嘉喜会長に聞く



拓南商事創立記念日に全員参加でラジオ体操指導会(2023年12月23日)

比嘉会長 1972年の本土復帰以降、NHK沖繩放送局が開局してラジオ放送を開始しました。これで、ラジオ体操を行う沖繩の環境が他府県と同じになりました。本土復帰以前は、親子ラジオや民放ラジオ(極東放送)でラジオ体操の放送が流されてはいました。実際に、当時の子どもたちは私も含め、ラジオ体操

操をやっていました。そのような背景もあり、本土復帰以前から現在に至るまで、学校で、ラジオ体操を正しく行う指導が沖繩ではあまり行われていません。そこが、他府県と異なる点です。ですから、沖繩県民は比較的、ラジオ体操が正しく身につけていないのです。私どもの沖繩地方ラジオ体操連盟は、本土復帰の翌年(1973年)に設立し、正しいラジオ体操

の普及に努めてきました。設立時期に行われた「夏期巡回ラジオ体操」(県内5カ所で実施)や「若夏団体」(1987年の復帰25周年記念「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」などが契機になって、ラジオ体操は沖繩で普及していききました。

「健康経営」の原点

ラジオ体操を始めた経緯



健康経営



自身の体を気遣うことが、心のバランスを保

安里美樹子 システム管理部 システム管理課課長

●拓伸商事福岡

高橋春香



拓伸商事福岡では、主に歩数の増加を目標に取り組みました。通勤だけでなく、休日の外出も意識した結果、昨年よりも平均歩数が約1000歩(月)増え、健康への意識が高まりました。

〈社員の感想〉

何となく健康経営に関わる機会が多くなりました。健康経営の推進に貢献したいと思えます。



何となく健康経営に関わる機会が多くなりました。健康経営の推進に貢献したいと思えます。



初めての挑戦で手探りでしたが、「健康経営優良法人2024」の認定を取



認定を受けることにより、社員とその家族に、会社が健全な職場づくりに注力していることを分かってもらえれば本望です。今後、全員で、安全・衛生・健康保持増進に取り組んでまいります。

●薩南物産

常務取締役 田邊雄二 「健康経営優良法人2024」の認定を受けることにより、社員とその家族に、会社が健全な職場づくりに注力していることを分かってもらえれば本望です。今後、全員で、安全・衛生・健康保持増進に取り組んでまいります。

50周年に向け力を合わせよう

創業35周年記念祝賀会開催 薩南物産

薩南物産は3月16日、創業35周年記念祝賀会を城山ホテル鹿児島で開催した。役員と歴代社長、拓伸会関係者など43人が参加した。祝賀会は、創業から今日にいたるまでの役員業績に感謝する慰労会と親睦会および50周年に向けたキックオフパーティを兼ねた。

11人を永年勤続表彰

席上、古波津昇代表取締役社長がまず、あいさつに立ち、これまでの社員の努力で現在の薩南物産がある、50周年に向けてさらに力を合わせていこう。本日は歴代社長も参加している。親睦を深めてほしいと述べた。

その後、表彰式に移った。入社以来誠実に勤務した社員計11人を対象に永年勤続表彰が行われ、古波津社長が表彰状と記念品を授与した。

- ☆勤続10年以上
久保雅史氏、宮内翼氏、朝山由紀子氏、大園正太氏、久留蕉太郎氏、金田温子氏
- ☆勤続20年以上
日高善幸氏、山下康弘氏、西元隆志氏、中村政男氏
- ☆勤続30年以上
田邊雄二氏

続いて、初代社長・黒島善茂氏が登壇し、「創業時は社員4人で鉄筋販売を開始したが、今や、これだけ多くの社員がいることをうれしく思う。公共工事の現場を見て、エポキシ鉄筋をはじめ、拓南グループが生産した資材が使われていることに感



古波津社長あいさつ



黒島初代社長による乾杯



11人に永年勤続表彰



日高副社長による三本締め



(4列目・最後列左から)西郷育実、重留秀幸、崎山浩志主任、山下康弘次長、西元隆志班長、中村政男、久留蕉太郎班長、大竹山輝明
(3列目)松元真理子、新原佑季子、金田温子、朝山由紀子主任、飯屋公智、日高善幸次長、大園正太班長、藤崎一也、中村英介副班長、榎田正樹、宮内翼主任、久保雅史主任、元秀二
(2列目)江上晃一郎常務(薩南物産)、田邊雄二常務(薩南物産)、新垣博史専務(拓南本社)、安東秀徳専務(拓伸商事)、本部賀代子監査役(薩南物産)、大城秀政取締役(薩南物産)、本部紹吉社長(拓南製作所)、松井太郎監査役(薩南物産)、川上哲史取締役(薩南物産)、横間政春執行役員(拓伸商事)、川井久一専務(薩南物産OB)
(1列目・最前列)日高副社長(薩南物産)、小湾正博顧問(拓南製作所)、外間健(OB)、福元光一(薩南物産OB)、古波津昇会長兼社長(薩南物産)、黒島善茂(OB)、橋西五十四顧問(薩南物産)、翁長政俊(OB)、八木実社長(拓南製鐵)、高崎善裕(OB) (敬称略)





(左から)金翠鈴(大阪)、山田みやび(大阪)



代表して決意表明をする有銘氏(左)と島田氏



(後列左から)金城琉璃(商事)、我那覇史恩(製鐵)、上原玲央(製作所)、本若照平(商事)、島袋悠(製作所)、前里奏心(商事)、上地太陽(商事)(中列)玉城壯多(製鐵)、神村太陽(製鐵)、池原星希(製鐵)、平良誠信(製鐵)、上里優太(製作所)、安里侖晃(商事)、上地正人(商事)(前列)幸地海成(商事)、成底正太(製鐵)、知念智香(製鐵)、佐和田鈴(商事)、有銘七美(商事)、島田敬太(製作所)、山下航平(商事)〈敬称略〉

【拓伸商事(大阪)】2人(2023年10月1日入社)
山田みやび氏(武庫川女子大学文学部卒)
「採用していただいた恩返し
の気持ちを含めて日々努力
してまいります」
金 翠鈴氏(龍谷大学経営
学部卒)
「1日でも早くお役に立てる

【二生懸命仕事を、いろ
いろな人たちの役に立ちた
いです」
上原玲央氏(中部農林高校
卒)
「拓南に入社したら一つ一つ
の工程を丁寧に頑張ってい
きたいです。また、お客様に
満足していただけるような
製品づくりをしていきたい
です」

【二生懸命頑張ります」(20
23年4月嘱託社員として
入社)
島袋 悠氏(浦添工業高校
卒)
「毎日元気に一生懸命働き、
信頼される社員になれるよ
うに頑張ります」
上里優太氏(中部農林高校
卒)

【拓南製作所】4人
島田敬太氏(琉球大学工学
部卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」
安里侖晃氏(美里高校卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」

【拓南製作所】4人
島田敬太氏(琉球大学工学
部卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」
安里侖晃氏(美里高校卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」

「1日でも早くお役に立てる
よう日々精進してまいります」
新人社員による自己紹介
の後、4社の代表取締役社長
がそれぞれ激励のあいさつ
をした。

【拓伸商事(大阪)】2人(20
23年10月1日入社)
山田みやび氏(武庫川女子
大学文学部卒)
「採用していただいた恩返し
の気持ちを含めて日々努力
してまいります」
金 翠鈴氏(龍谷大学経営
学部卒)
「1日でも早くお役に立てる

【二生懸命仕事を、いろ
いろな人たちの役に立ちた
いです」
上原玲央氏(中部農林高校
卒)
「拓南に入社したら一つ一つ
の工程を丁寧に頑張ってい
きたいです。また、お客様に
満足していただけるような
製品づくりをしていきたい
です」

【二生懸命頑張ります」(20
23年4月嘱託社員として
入社)
島袋 悠氏(浦添工業高校
卒)
「毎日元気に一生懸命働き、
信頼される社員になれるよ
うに頑張ります」
上里優太氏(中部農林高校
卒)

【拓南製作所】4人
島田敬太氏(琉球大学工学
部卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」
安里侖晃氏(美里高校卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」

【拓伸商事(大阪)】2人(20
23年10月1日入社)
山田みやび氏(武庫川女子
大学文学部卒)
「採用していただいた恩返し
の気持ちを含めて日々努力
してまいります」
金 翠鈴氏(龍谷大学経営
学部卒)
「1日でも早くお役に立てる

【二生懸命仕事を、いろ
いろな人たちの役に立ちた
いです」
上原玲央氏(中部農林高校
卒)
「拓南に入社したら一つ一つ
の工程を丁寧に頑張ってい
きたいです。また、お客様に
満足していただけるような
製品づくりをしていきたい
です」

【二生懸命頑張ります」(20
23年4月嘱託社員として
入社)
島袋 悠氏(浦添工業高校
卒)
「毎日元気に一生懸命働き、
信頼される社員になれるよ
うに頑張ります」
上里優太氏(中部農林高校
卒)

【拓南製作所】4人
島田敬太氏(琉球大学工学
部卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」
安里侖晃氏(美里高校卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」

【拓南製作所】4人
島田敬太氏(琉球大学工学
部卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」
安里侖晃氏(美里高校卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」



各社役員がグータッチで激励「頑張ってね」「ハイ」

【拓伸商事(大阪)】2人(20
23年10月1日入社)
山田みやび氏(武庫川女子
大学文学部卒)
「採用していただいた恩返し
の気持ちを含めて日々努力
してまいります」
金 翠鈴氏(龍谷大学経営
学部卒)
「1日でも早くお役に立てる

【二生懸命仕事を、いろ
いろな人たちの役に立ちた
いです」
上原玲央氏(中部農林高校
卒)
「拓南に入社したら一つ一つ
の工程を丁寧に頑張ってい
きたいです。また、お客様に
満足していただけるような
製品づくりをしていきたい
です」

【二生懸命頑張ります」(20
23年4月嘱託社員として
入社)
島袋 悠氏(浦添工業高校
卒)
「毎日元気に一生懸命働き、
信頼される社員になれるよ
うに頑張ります」
上里優太氏(中部農林高校
卒)

【拓南製作所】4人
島田敬太氏(琉球大学工学
部卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」
安里侖晃氏(美里高校卒)
「これから新しい仲間と仲良
くし、一生懸命社員として頑
張りたいと思います」

【拓伸商事(大阪)】2人(2023年10月1日入社) 山田みやび氏(武庫川女子大学文学部卒) 「採用していただいた恩返し
の気持ちを含めて日々努力してまいります」 金 翠鈴氏(龍谷大学経営学部卒) 「1日でも早くお役に立てる
よう日々精進してまいります」

化学物質管理者セミナー実施

拓南本社安全統括室

拓南本社安全統括室は3月27日、沖繩健康バイオテックノロジー研究開発センターで化学物質管理者セミナーを実施した。会員企業県内5社の12人が参加した。

セミナーを実施したいきざつについて、拓南本社安全統括室の長濱直次執行役員室長は次のように振り返った。

「厚生労働省令改正に伴い、化学物質の自律的な管理が今年4月1日から始まりました。改正の主な内容は、安全データシート(SDS)の交付対象物の製造、取り扱い

事業場は、業種、事業の規模を問わず、リスクアセスメントの実施と化学物質管理者の選任が事業者の義務付けされたことです(2024年4月1日現在の対象物質は

3

89.6、今後2年でさらに約1500増える)。

特に化学物質管理者は、拓南製鐵のようにSDSデータ交付対象物を製造している事業場では法定の講習修了者から専任することとされ、一方、拓南商事、拓南製作所、西原グリーンセンター、拓南本社は、職務遂行に必要な能力を有する者から選任することになっていきます。選任の必要が生じてから14日以内に行うこととされています。

拓南本社安全統括室が、化学物質管理者選任支援のため5社の12人に実施したセミナーでは、化学物質の危険性・有害性、リスクアセスメントのツールの入手法、クリエイトシナブルを使用したリスクアセスメントの実技

を行いました。短い時間でありましたが、熱心に学んでいただきました。受講者の中には今後、化学物質による労働災害防止対策

化学物質が身近にある拓南製鐵環境室 主任・衛生管理者 八木佳菜子

拓伸会関係者6人を技能講習講師に

沖繩県労働基準協会

(一社)沖繩県労働基準協会は3月22日、拓伸会関係者6人に技能講習講師を委嘱した。

交付式で島袋清人会長(沖電工社長)が委嘱状を手渡ししたのは、拓南本社の長濱直次安全統括室長、拓南製鐵の玉城孝太製造部長、拓南商事の中村明史工務部次長、拓南製作所の勢理客耕司常務取締役、西原誠安全管理者、OBの高崎善裕氏(写真参照)。

同協会は、県内企業のゼロ災害を目指し、快適職場づく



(左から)長濱直次氏、勢理客耕司氏、中村明史氏、西原誠氏、高崎善裕氏

第2回 動力プレス特別教育実施

拓伸会

拓伸会は2月28日、29日の2日間、拓南製鐵および拓南製作所の社員23人を対象に第2回動力プレス特別教育を拓南製作所で実施した。特別教育は法令で実施が定められている。

講師は、8月24、25日に行つた第1回と同様で、OBの石川逢重氏(拓南友の会長)長、拓南本社の長濱直次執行役員安全統括室長、拓南製作所の勢理客耕司常務取締役、西原誠安全管理者課長、フォーミング事業所加工班の福嶺盛政作業主任者、線材班の許田正次作業主任者の

の指導、実施が期待されま

受講者のうち2人に感想を語ってもらつた。

安全作業の心構え

受講者のうち、拓南製作所建設製鋼事業所の福里大河氏は、次のように感想を述べた。

「動力プレス特別教育に参加させていただき、ありがとうございます。講習で学んだなかで印象に残っているものの一つは、安全作業の心構えです。プレス機は手軽で簡単に扱えますが、一歩間違えたら大事故につながる危険な作業であると認識しました。プレス機の正しい扱い方、安全に作業を行う心構えを学びました。これから作業を行う際には、今回学んだことを忘れずに安全を心がけます」

受講者のうち、拓南製作所建設製鋼事業所の福里大河氏は、次のように感想を述べた。



玉城孝太氏



福嶺盛政氏 所長 與儀 斉



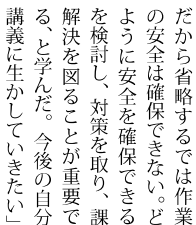
八木佳菜子

自分の講義に生かす

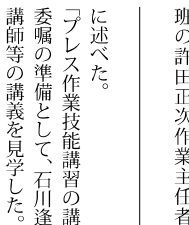
講師の一人、玉城部長は、自主学習として2月に開催された拓伸会のプレス作業特別教育受講し、その感想と講師受諾の所信を次のよう

長らせていくことを期待している」とコメントした。

長らせていくことを期待している」とコメントした。



玉城孝太氏



福里大河氏



許田正次作業主任者(左)による実技教育

「プレス作業技能講習の講師委嘱の準備として、石川逢重講師等の講義を見学した。産業を支えてきたプレス機の歴史や構造の変化を学び、安全に対する意識の向上と技術の進化により安全な職場があるのだと強く感じた。講義の中で、法的に規制のある安全項目について質問させてもらった。やはり、実際の作業となると、作業方法や効率の面から現状では遵守することが難しい項目も少なからず出てくる。しかし、効率が悪くから守らない、面倒だから省略するのでは作業員の安全は確保できない。どのように安全を確保できるかを検討し、対策を取り、課題解決を図ることが重要である、と学んだ。今後の自分の講義に生かしていきたい」

「プレス作業技能講習の講師委嘱の準備として、石川逢重講師等の講義を見学した。産業を支えてきたプレス機の歴史や構造の変化を学び、安全に対する意識の向上と技術の進化により安全な職場があるのだと強く感じた。講義の中で、法的に規制のある安全項目について質問させてもらった。やはり、実際の作業となると、作業方法や効率の面から現状では遵守することが難しい項目も少なからず出てくる。しかし、効率が悪くから守らない、面倒だから省略するのでは作業員の安全は確保できない。どのように安全を確保できるかを検討し、対策を取り、課題解決を図ることが重要である、と学んだ。今後の自分の講義に生かしていきたい」

「プレス作業技能講習の講師委嘱の準備として、石川逢重講師等の講義を見学した。産業を支えてきたプレス機の歴史や構造の変化を学び、安全に対する意識の向上と技術の進化により安全な職場があるのだと強く感じた。講義の中で、法的に規制のある安全項目について質問させてもらった。やはり、実際の作業となると、作業方法や効率の面から現状では遵守することが難しい項目も少なからず出てくる。しかし、効率が悪くから守らない、面倒だから省略するのでは作業員の安全は確保できない。どのように安全を確保できるかを検討し、対策を取り、課題解決を図ることが重要である、と学んだ。今後の自分の講義に生かしていきたい」

拓南余話⑮



渡米を目前に控え、昼食の壮行会を開いてくださった方々。左から、玉寄啓作、新垣忠夫、宇栄原宗健の名氏。皆、鬼箱に入られたのは寂しい

酸素プラント導入記(4)
なんてこった
黒島 善茂
酸素発生機を自社で設置
することが決定された後、
私は、設備の規模を100
(m/時)から150(m/
時)と算定し、拓伸商事に
調査を依頼した。しかし、3
000(m/時)以下の小規
模な設備は日本には無いと

のことであった。
どのような人脈があった
のか知らないが、創業者は、
アメリカ南部ニューオリン
ズに小規模な設備があるこ
とを探し当てた。1966
年、正月気分が抜けないな
か、創業者は、プラントの
検証をしに渡米され、約10
日ほどで帰ってこられた。
翌朝、現場にいたところ、
社長室に来るようになると呼
び出された。社長室に入るや、
あいさつも終わらぬうちに、
「黒島君、酸素プラントは手
頃なのがあったので契約し
てきたぞ」
「それは良かったですね」
「そこでだ。君、引き取りに
行ってくれないか」
「エッ！私ですか？」
「そうだ。現在稼働している
ので解体梱包させて、運ん
できてくれ」
「ちよっと待ってください。」
私には機械のことなら多少は
知っていますが、化学の知
識はほとんどありませんの
で無理です」
「いや。9月には運び出す契
約をしているので、今から
採用しては到底間に合
わない。1カ月はトレーニ
ング期間をお願いしてある
から」
「そこまでおっしゃるなら、
行ってきます」と答えてし
まった。
しかし、まったく自信が
ない。
必死になって書物をむさ
ぼるように読み、沖縄酸素
の設備を見学させてもらっ
た。今までこれくらい集中
して勉強しておれば、もう
少しは「デキヤー」になっ
ていただろうに。
それとは別に、さらに大
きなハードルが待ち受けて
いた。渡米する日が迫った
ある日、また社長室に呼ば
れた。
「黒島君、渡米の日が決まっ
たので、ユースカー(米國
民政府)に行つて書類をも
らつてきなさい」
「ユースカーにですか？」
「そうだ。渡米するには旅費
がかさむので、お願いして
いたら認可されたそうだ」
「通訳者はどなたですか？」
「いや、君一人で行くんだ
よ」
「いやいや、私は英会話がで
きません」
「大学に受験するときには英
語も勉強したんだろ。大丈
夫だよ」
なんてこった。
これから英会話を勉強し
ても到底無理な話。頭の中
は真っ白になり混乱するば
かりであった。
(拓伸会 前名誉会長)

比嘉利夫氏に
栄冠
第1回
拓南友の会
NGCコンペ



拓南友の会のNGCゴルフコンペが再開し、4月3日に
第1回大会が開かれました。
OB7人と比嘉利夫監査役の計8人=写真参照=の2
パーティーで、西原グリーンセンターのショートコー
ス10ホール×2ラウンドをプレーしました。
記念すべき再開第1回の優勝は、比嘉利夫氏。2位は
後間儀雄氏、ブービー賞は富山清氏。第2回は5月8日
の予定です。



◎組織変更

*4~5頁に関連記事

拓南本社 4月1日
技術開発研究室(新設)

拓南商事 4月1日

営業本部(新設)

製造本部(リサイクル事業部、
工務部を整理統合)

拓南製作所 4月1日

鐵構事業所(フォーミング事
業所造管部門、建設鐵構事業
所を整理統合)

棒鋼線材事業所(フォーミン
グ事業所線材部門、鉄筋事業
所を整理統合)

2024年
3月1日~4月30日
*一部、未紹介分を掲載し
ています。

資格取得

第一種衛生管理者

拓南本社の長澤氏

拓南本社安全統括室の長澤孝之氏が2月22日、第一種衛生管理者(主催・安全衛生技術試験協会)の資格を取得しました。

50人以上の労働者が常時いる事業場はすべて衛生管理者を選任することが法律で義務づけられています。第一種衛生管理者免許は、大学卒業者の場合、1年間の労働衛生実務経験を経て受験資格が与えられ、試験に合格した者に交付される国家資格です。

合格率(令和4年データ)が全国45・8%、県内*「あじまあ掘示板」では、担当業務と関わりがある資格の取得者(合格者)情報をお待ちしています。原則として数カ月以内に取得した社員としますが、会員企業社員のモチベーションを上げるためにも、取得時期については許容範囲を広げて紹介する方針です。

29・4%という難関です。長澤氏は、次のようにコメントしてくれました。

「安全統括室に属する身として必須の資格であると考えておりました。全く無知からのスタートでしたので、昨年9月の1回目は1科目落としてしまい、不合格でした。今回、2回目の挑戦で何とか合格できました。今後は、拓南本社に務める皆様の安全・衛生面のサポートをしていきつつ、いずれは、グループ全体の安全と健康を守っていただけるように努めてまいります」

編集後記

拓伸会会員企業のうち「健康経営優良法人」に全8社、「くるみん認定企業」に県内5社がそれぞれ認定されました。快挙です。しかし、マスクはあまり取り上げてくれません。見方を変えると、それらのテーマに、あの業界は積極的になれない氣質があるのでは。日刊紙記者だった自分を振り返りますと、仕事(夜打ち朝駆け)等にやりがいを感じて社のソファや床で一夜を過ごしたり、家庭のことは後回しでしたから。(鈴木)